

時間割コード	Q4700904	開講年度	2026				
授業題目	総合的な学習の時間の指導法【第4欄】					担当教員	藤井 善章
英文授業名	Theory and practice for 'Period for Integrated Studies'						
単位数	1	講義期間	後期(前半)	曜日・時限	木曜・5時限	対象学生	F
講義室	繊維1	1番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学習指導要領における総合的な学習の時間の意義や歴史的変遷を学ぶことを通して、教育課程において果たす役割や、教科を越えて必要となる資質・能力とは何かを探る。 学習指導要領における総合的な学習の時間の目標並びに各学校において目標及び内容を定める際の考え方や留意点を理解したうえで、指導計画の作成や教材開発を行い、主体的・対話的で深い学びを実現するような、総合的な学習の時間の単元計画の作成を行う。 探究的な学習の過程及びそれを実現するための具体的な手立てや、学習状況に関する評価の方法を探る。						
(5)授業のキーワード	教職科目，総合的な学習						
(6)授業計画	第1回 総合的な学習の時間の意義と教育課程において果たす役割について、教科を越えて必要となる資質・能力の視点から理解する。 第2回 学習指導要領における総合的な学習の時間の目標並びに各学校において目標及び内容を定める際の考え方や留意点を理解する。 第3回 総合的な学習の時間の設計・実践・評価のプロセスと学習原理 第4回 総合的な学習の時間のテーマ設定と各教科・他領域との関連の展開や地域との連携 第5回 ICTを活用し、探究的な学習の過程及びそれを実現するための教材作成のあり方 第6回 総合的な学習の時間の単元構成と指導計画作成 第7回 模擬授業 第8回 模擬授業の相互評価と今後の中等教育における総合的な学習の展望、授業アンケートを実施する（最後15分で実施）						
(7)成績評価の方法	毎時間課すその時間の学習内容に即したレポート（65％）、最終段階での、自分が最も学習効果が上がるであろうと考える学習理論・方法論に基づいた学習指導計画の作成(30％)、授業の取り組み（5％）を総合的に判断する。						
(8)成績評価の基準	学習効果が上がるであろうと考える学習理論・方法論を用いて、生徒が多面的・多角的に追求する学習計画を設計することができるが、「おおむね達成した」の基準となります。 授業設計における教材化が、生徒の実態や地域の実情との関係で深まりがみられる場合、基準より高い評価となります。 授業設計が未完であったり、教材研究が不十分な場合は、基準まで努力が必要という評価になります。						
(9)事前事後学習の内容	新聞等をよく読み、現代的な課題についての情報を収集し、授業設計にどのように反映させるかを考える。 ※この授業は、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	必修の教職科目です。教員免許状を取得希望の学生は2年生か3年生で必ず履修すること。						
(11)質問,相談への対応	授業の前後で対応します。 メールでの対応も可。 fujiiy@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	すべての回に出席することを前提としています。 リアクションペーパーの提出（400字程度の記述）をもって出席とします。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	eAlps上に掲載する資料等で自学自習し、レポートを作成し提出する。						
【教科書】	中学校学習指導要領，中学校学習指導要領解説 総則編，中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編，高等学校学習指導要領，高等学校学習指導要領解説総則編，高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編						
【参考書】	授業の中で適宜紹介する。						